


省電力ユーティリティ for HD について (WindowsXP/2000 のみ)

省電力ユーティリティ for HD は、特定の外付けハードディスクを省電力状態にして消費電力を抑えることができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すれば、アクセスしないハードディスクの消費電力を抑えることができます。

 本書中の「省電力」とは、このソフトウェアを使用してハードディスクを省電力状態にすることを指します。パソコン（Windows）のスタンバイやハイバネーション等の省電力状態とは異なります。

省電力ユーティリティ for HD を使用する前にハードディスクの AUTO 電源機能切替スイッチが「AUTO」になっているか確認してください。
「MANUAL」になっている場合はハードディスクを省電力状態することができません。

できること

ハードディスクを省電力状態にして電力の消費を抑えることができます。

タイマ機能を搭載し、一定時間アクセスが無かったハードディスクを省電力状態にすることができます。

1 台だけでなく複数台の設定ができます。

対応ハードディスク

省電力ユーティリティ for HD は以下のハードディスクに対応しています。

弊社製 IEEE1394 または USB2.0 対応の外付けハードディスク

HD-PU2 シリーズなどバスパワーのハードディスクを除きます。

USB1.1 接続時も動作します。

インストール

- 1 ユーティリティ CD をパソコンにセットします。
簡単セットアップが起動します。
- 2 [省電力ユーティリティ for HD のインストール] を選択し、[開始] をクリックします。

以降は、画面に従ってインストールしてください。

注意事項

アクセス中のハードディスクを取り外したり、省電力状態にすることはできません。
省電力状態にする前や取り外しをする前に、ハードディスクのアクセスランプが点灯または点滅していないことを確認してください。

ハードディスクの取り外しは、省電力ユーティリティ for HDを使って行ってください。
ユーザーズマニュアルに記載の取り外し手順は、省電力ユーティリティ for HDをインストールしていないときの手順です。ユーザーズマニュアルに記載の取り外し手順を行うと、エラーメッセージが表示されたり省電力状態にできないことがあります。

省電力中は以下のことを行わないでください。

- ・ ハードディスクの増設、および取り外し
- ・ USB ストレージデバイスやデジタルカメラなどの接続
- ・ ハードディスクのフォーマットやパーティションの変更


ドライブを2台以上お使いの方へ

省電力 復帰に際してハードディスクの電源は切 入されます。もし、省電力中に他のストレージデバイスを取り付けてしまうと、ハードディスクのドライブ名が先に使用されてドライブ名が変わってしまうことがあります（例：Fドライブ Gドライブ）ので、このような使い方はしないでください。

どうしても、増設の必要がある場合には、ハードディスクをあらかじめ使用されにくいドライブ名（X、Y、Zなど）にしてお使いください。手順は以下のとおりです。


- 1 [マイコンピュータ]を右クリックし、[管理]を選択します。
- 2 画面左の[ディスクの管理]をクリックします。
- 3 ドライブ名を変更したいドライブ(領域)を右クリックし、[ドライブ文字とパスの変更]を選択します。
- 4 [変更] (Windows2000の場合は[編集]) をクリックします。
- 5 「次のドライブ文字を割り当てる(ドライブ文字の割り当て)」で、一番下のアルファベットを選択し、[OK] をクリックします。

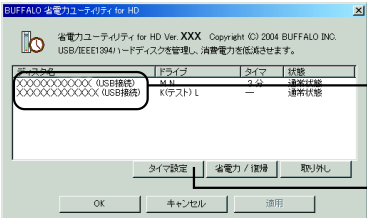
以降は画面の指示に従ってドライブ名を変更してください。

 **注意** ハードディスクにはボリュームラベル(例: buffalo)をつけることをお勧めします。ドライブ名が変更されてもボリュームラベルは変わらないため、他のドライブと判別する際に役立ちます。

タイマを使って省電力状態にする

ハードディスクに一定の時間アクセスがない場合に省電力状態に移行するときの手順を説明します。以下の手順で行ってください。

- 1 タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。

- 2 

省電力状態にしたいハードディスクを選択します。

[タイマ設定] をクリックします。

- 3 「タイマ時間を設定してください。」と表示されたら、設定したい時間を選択し[OK]をクリックします

ここで設定した時間アクセスがないと、ハードディスクが省電力状態になります。

- 4 手順2の画面に戻ったら[OK]をクリックします。

設定した時間は「タイマ」の欄で確認できます。

以上で、省電力状態の設定は完了です。

省電力状態になるとどうなるの？


エクスプローラ([マイコンピュータ] など) からハードディスクのドライブアイコンが消え、データの読み書きができなくなります。また、ハードディスク本体は、パソコンと接続しているコネクタによって、以下のような状態になります。

USB コネクタまたは IEEE1394 コネクタとパソコンを接続している場合
ハードディスクの電源が切れ、電源ランプが消灯します。

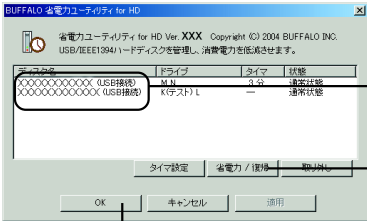
IEEE1394b コネクタとパソコンを接続している場合
ハードディスクの回転が止まります。電源は切れませんので、電源ランプは点灯したままです。

タイマを使わないで省電力状態にする

ハードディスクをすぐに省電力状態にするときは以下の手順で行ってください。

1 タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。

2



省電力状態にしたいハードディスクを選択します。

[省電力 / 復帰] をクリックします。

[OK] をクリックします。

注意 省電力状態に移行できなかったときはエラーメッセージと対処方法が表示されます。エラーメッセージが表示された場合は、画面の指示に従ってください。

確認 「状態」の欄で現在の状態を確認できます。「省電力状態」と表示されていれば、ハードディスクは省電力状態になっています。

以上で省電力状態への移行は完了です。

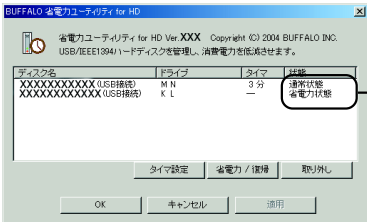
確認 省電力状態になったハードディスクは、前ページ「省電力状態になるとどうなるの？」の状態となります。

状態の確認

省電力状態のハードディスクは以下の方法で確認できます。また、タイマを設定している場合は、以下の方法で設定した時間を確認できます。

1 タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。

2




「省電力状態」と表示されていれば省電力状態になっています。

確認 タイマ設定をしている場合は、「タイマ」欄に設定した時間が表示されます。

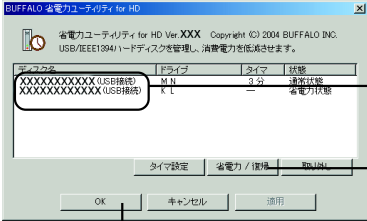
以上で状態の確認は完了です。

省電力状態から復帰するには

省電力状態にしたハードディスクを通常の状態(データの読み書きができる状態)に復帰するには以下の手順で行ってください。

1 タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。

2




省電力状態から復帰させたいハードディスクを選択します。

[省電力 / 復帰] をクリックします。

[OK] をクリックします。

以上で省電力状態からの復帰は完了です。


 省電力状態から復帰するには、上記の操作後 30 秒程度時間がかかります。

ハードディスクの取り外し

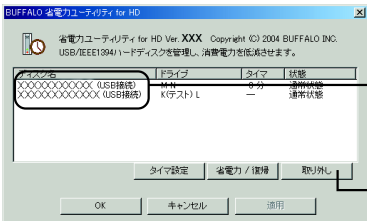
省電力ユーティリティ for HD をインストールした場合は、以下の手順で取り外してください。

△注意 ・必ず以下の手順に従って取り外してください。ユーザーズマニュアルに記載の取り外し手順は、省電力ユーティリティ for HD をインストールしていないときの手順です。ユーザーズマニュアルに記載の取り外し手順を行うと、エラーメッセージが表示されたり省電力状態にできないことがあります。その場合は、パソコンを再起動してください。

・ハードディスクにアクセスしているときはケーブルを取り外さないでください。故障の原因となります。

1 タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。

2



取り外したいハードディスクを選択します。

[取り外し] をクリックします。

3 手順2の画面から取り外すハードディスクの名称が消えたことを確認し、ハードディスクを取り外します。

以上で取り外しは完了です。

省電力ユーティリティ for HDについて

2004年6月16日 第2版発行 発行 株式会社バッファロー

PY00-30030-DM10-02

2-01

C10-005